

銀賞 坂入 聡美君

釧路工業高等専門学校建築学科

BOOK PARK—よりみちでつくる本とのふれあい—

「自然」と「ゆっくり流れる時間」にめぐまれたまちの未来に思いをよせて、既存の公園に「知る」「集う」「残す」のキーワードで本の丘（図書館）、集いの山（コミュニティー施設）、本の木（古本図書館）がデザインコンセプトのもと、複合的に設計されています。それぞれのアクティビティーと建築の関係がよく考えられ、特に本の木は訪れたいと思う楽しさが表れています。個々の施設間の関係性、有機的なつながりがもう少し表現されていたら、よりみちのゲートからのシークエンスが、素晴らしいものになったと思います。提案・構成共に優れた作品です。

（文責：上遠野 克）

